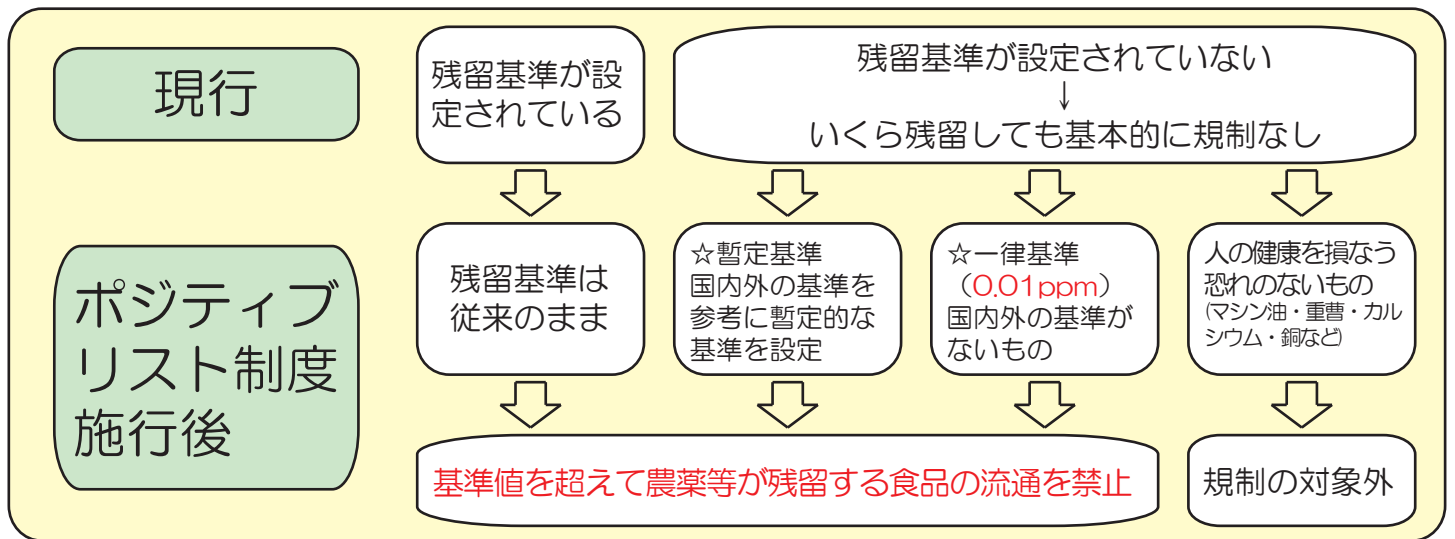


農薬を散布するときは、 これまで以上に気をつけましょう。

平成18年5月29日から、食品衛生法に基づく農薬残留基準がポジティブリスト制度に移行します。



農薬飛散等による農薬残留のため、農産物が食品衛生法違反で流通禁止になる可能性があります。出荷時期や種類の異なる作物が近接して栽培されている場合は、特に注意が必要です。

飛散を防ぐための各種対策



- 風の強い日は散布を控える。
- 作物に噴口を近づけて散布する。
- 散布機の圧力を上げすぎない。
- 散布量が多くなりすぎないように気をつける。
- 飛散を減らすノズルに交換する。
- ネットやシート、ソルゴーなどの植物を活用してまわりの作物を遮蔽する。

その他の対策



- 粒剤など、より飛散しにくい農薬を選ぶ。
- 周りの農作物にも登録のある農薬を使用する。
- 境界区域には作物を植えないなどして、農薬を散布しない。
- 農薬を散布したら必ず記帳する。
- タンクやホースは洗い残しが無いよう念入りに洗っておく。

◆散布することを周りの栽培者に伝え、日頃からコミュニケーションをとるなど、地域の農業者同士の連絡を密にしておくことが重要です。

☆問い合わせ先
大阪府環境農林水産部
農政室推進課
地産地消推進グループ
TEL 06(6941)0351

又は、最寄りの農と緑の総合事務所
農の普及課か病害虫防除所まで